

教育センター通信

令和7年11月12日

No. 4

中野区立教育センター

所長 井元 章二

～すべての子どものために、支援の中心として～

子どもたち一人ひとりが目を輝かせる授業を目指して

所長 井元 章二

教職5年目で小学6年生を担任していた先生の話です。理科の授業でした。

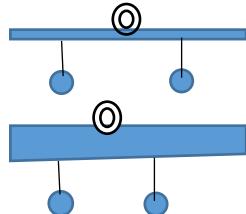
先生が用意した2種の棒を配り、「この棒をそれぞれ水平にしてみよう。」と投げかけました。板にはクリップが付いていて左右に自由に動かせます。クリップの穴に竹ひごを通し、机の表面に粘着テープで固定します。

太さが同じ棒は、容易に水平にできます。水平になるのは支点が中央に来た時だからです。しかし、左右の太さが違う棒の場合、支点が中央では水平になりません。試行錯誤しながら中央よりも太い側に寄った個所に支点を持ってくるとやっと水平にできました。

次に、「水平にした棒の左右の腕に、同じ重さのおもりを下げる、棒を水平にしてみよう。」と投げかけます。

この学習で、子どもの発見は2回ありました。まずは、左右で太さの違う板が水平になるとき、支点が中央でないこと。次は、太さ

の違う板の左右に同じ重さの重りを下げる水平にするには、支点から等距離に下げればよいが、端からの距離は違うということです。



この事実から、釣り合いの決まりを見付けるのが課題です。子どもたちはああでもない、こうでもないと考えました。大きな声で「わかった！」といった子がいます。棒の太さが違う場合、水平になったときの支点から左右の重さが同じだから棒のことは考えなくていいんだ！というのです。だから、同じ重さの重りを左右等距離に下げれば太さが違っても水平に釣り合せられるんだ、と結論が導き出せたのです。大発見です。子どもたちは自分たちで解決できた喜びを味わっていました。



子どもたち一人ひとりが、目を輝かせ満足する授業を目指して、先生方は研修しています。

いじめ防止フォーラム

いじめ防止フォーラムは、学校・保護者・地域が協力し、いじめ防止に向けて取り組む体制づくりの一環として、毎年開催をしております。今年度は、教育委員会より「いじめ防止に向けた取組の説明」、代表の小学校、中学校より「いじめ防止に向けた取組の発表」、本区スクールロイヤーより「いじめ防止に向けた学校・家庭・地域の連携」についてお話をいただきました。最後には、参加した教員・保護者の方がグループを組み、意見交流を行い、理解を深めました。



意見交流の様子

◎教育委員会が実施する教員向け研修の一部を紹介します。

教育相談研修会



①教育相談室の専門相談員が講師となり、子どもたちの悩みや不安に寄り添うための相談技法や、学校現場での対応の工夫について学びました。

②家庭や地域との連携を深めるために、スクールソーシャルワーカーが講師となり、子どもを取り巻く環境への理解を深める研修を行いました。

先生方は、学んだことを生かして子どもたち一人ひとりの心に寄り添った支援を行っています。

特別支援教育研修会

東京都立中野特別支援学校が中心となり、毎年夏季休業中に新宿区と共に研修を実施しています。今年度は4人の講師をお招きし、医療・福祉・心理・教育など幅広い分野から、特別支援教育について学びました。子ども一人ひとりの特性や教育的ニーズに応じた支援や合理的な配慮を行うための知識と実践力が高められるよう、先生方も日々学んでいます。

不登校対応研修会

本研修では、中野区の不登校の現状を知り、不登校に関する知識を獲得し、各校における不登校対応に生かしています。今年度5月には「中野区不登校支援の基本方針」が策定されました。その中の4つの方策について、各小・中学校の取組を共有しました。先生方は、子どもたちが安心して学校に通えるよう、日々の教育活動の中で丁寧な対応を心がけています。



道徳教育推進教師研修会

各小・中学校の「道徳教育推進教師」に向けた研修です。本研修では、指導教諭による道徳授業の参観を通して、子どもたちの思考を深める指導の工夫や授業展開を学んだり、教育アドバイザーの専門的な視点からの講義を受けて自校の道徳教育の推進を図ったりしています。さらに、各校の取組を情報交換することで、中野区全体で道徳教育の質を高めようと取り組んでいます。

研究主任会



今年度から全ての区立幼稚園・小・中学校が研究指定校となり、研究発表を行うこととなりました。本研修では、各校より指導力の優れた教員が集まり、今の教育に求められることや校内研究の運営の仕方などについて学んだり、互いの研究の情報共有を行ったりしています。情報共有を行うことで自校や他校の取組のよさに気付き、お互いに高め合っています。

英語教育研修会

小学校の英語教育推進教員、中学校の英語科担当教員が英語教育について共通理解を図ることで、中野区全体の英語教育の質を向上させることをねらいとしています。令和7年度は、講師による講義、指導教諭による模範授業、区内英語科教員による指導方法の提案、ALTの効果的な活用を扱いました。先生方が校種を越えて連携する機会となっています。

ICT 活用研修会

夏季休業中に、中野区で導入しているアプリや端末の事業者の協力のもと「ICT相談会」を実施しました。使い方について提案や、活用事例の紹介などをいただきました。午後は、初任者の課題別研修会を同時開催し、初任者がICTの効果的な活用について協議を行いました。各校では、子どもの学びを支えるためのICT活用の在り方について今後も考えていきます。

保幼小中連携教育研修会

「保幼小中連携教育」は中野区の重点施策です。15年間の学びの連続性をもたせるため、教育・保育施設と区立学校が交流や連携を行っています。本研修では、指導主事から連携教育について説明を行い、区立保育園・幼稚園、小・中学校の先生方が、校区ごとに集まり、協議をしました。育てたい子どもの姿を基によりよい連携の在り方について考えています。